

## 令和 5年 3月期 (第87回) 番組審議会 議事録 (抄)

開催日時 : 令和 5年 3月 22日 (水) 午後 7時から 7時 39分まで

開催場所 : 京都府京丹後市峰山町丹波 8 2 5 番地の 1  
NPO 法人京丹後コミュニティ放送 1 階事務所内

委員の出席 : 委員総数 7 名

出席委員数 : 4 名

放送事業者 : 1 名

側出席者

### 開 会

事務局から令和 4 年度第 6 回目の番組審議会の開催宣言後、出欠確認、会長から議事録署名人として、川村康好氏と安田秀俊氏にお願いを了し承が得られた。続いて、活動報告の後番組審議に入る。

### 議題

6 月の番組再編についての意見交換会

### 番組説明、番組視聴、その後審議に入る

本来ですと、沢山番組を入れたいところではありますが、パーソナリティをやりたいという方がなかなかいないのが現状。概ね 6 月の再編でも今まで通り朝と夕方の生放送の帯の番組と言うのは、軸に考えていきたいなと思っております。他局の制作番組もいくつか放送させていただいております。水曜日の 9 時のチェンバリスト明楽みゆきの浪漫紀行、土曜日の 20 時のよむむしラジオ、共に FM しろいし制作の番組となっています。土曜日の 18 時からの TIME TRAVELER は FM よみたんと FM たんごで放送しています。

### 審議内容

(委員) MC がいないという中で音楽だけを流すという時間帯が毎日午前午後に入っていますがこれは他の局も同じような状況になっていますか？

(局側) そうですね。都心部ですとアマチュアミュージシャンとかが番組をやって自分の音楽をかけてとかということをやっている放送局は沢山あります。ただ、パーソナリティとしてトーク番組というところはあんまり難しいのかなって言うところはあります。

(委員) 何か打開策と言うか、難しいとは思いますが。何かいい方法があれば。

(委員) 色んな音楽が聞けて曲だけが流れていても、それぞれ好きな方がおられて、ジャンルが色々と流れているので、そんなのもありでいいんじゃないかなと思いました。

(委員) ゆっくりしたいときに曲が流れていたらほっこりしたりっていうのがみんなもいいんじゃないですか。

(局側) この前近隣のコミュニティ FM の内情をお聞かせいただければなと思って周らせて頂きまして、一番印象に残っているのは、企業が沢山あるので CM とかの収入は安定的にあるんですが、ラジオとしての競合がやっぱり α ステーションと NHK というビッグネームを相手にしないといけないので、同じことをやってもさすがに差別化が出来ない、ということがあって。シニア世代がよく聴くであろう歌謡曲とか、演歌とかを主に流すようにしています。ということをおっしゃっていました。リスナーの囲い込みとしてはすごく正しいことだとは思いますが。

(委員) そうですね。

(局側) FM いかるさんで無作為でどこの局聴いていますかって言うアンケートを取られた結果、α ステーション 30%、NHK 30%、FM いかる 30%、という感じで上手いことやっぱり住み分けができています。

(局側) 運営としては非常にお上手だとは思ったんですが、FM たんごでは難しいのかなというところはありますね。

(委員) Music Jam は流される曲ってのはランダムにかけてる？

- (局側) たとえば月曜日の10時から11時までを洋楽をかけますとか、時間枠に応じでカテゴリを変えている感じです。古い洋楽をかけたり、古い日本の曲をかける時間もありますし、あと新しい最新のヒット曲をかける時間もあります。
- (局側) あと地元のミュージシャンの音源も使っています。
- (委員) 同じ時間でも曜日によっては違うジャンルということですか？
- (局側) はいそうです。
- (委員) だいたいこの時間はジャズならジャズとかそういうイメージなんですか。
- (局側) 次の編成から月曜の朝10時から11時までが洋楽だったのを、日本の古い音楽かけてみよかと考えています。
- (委員) ジャンルはリスナーは選べないんですよね。
- (局側) そうですね。
- (委員) 月曜日に洋楽がかかっていたから、今度木曜日辺りはどうだろうとか、そういう予定は無く？
- (局側) だいたい決めています。何曜日の何時は洋楽とか。
- (委員) それは毎週？
- (局側) 編成ごとに変えています。
- (委員) 編成ごとにとするのは？
- (局側) 3か月ごとに入れ替えるように、地元のミュージシャンの時間もありますし。
- (委員) それをみんな聴いている人は知っているんですか？わかって聴いている人はいるんですかね。
- (局側) あんまり意識はされてないかもしれないですね。
- (委員) NHKで音楽が1時ごろから2時頃までであるじゃないですか、何曜日は演歌っぽくて、次は何かで分けておられて。
- (局側) そうですね。多分そうしたほうが馴染みがでるっていうのはあるかもしれないです。
- (局側) 本当にランダムにやっちゃうと、例えば洋楽ファンの方が急に演歌になったり。
- (局側) 逆に演歌聴きたいなと思っている人が急に洋楽とか入ってきたら。
- (委員) いつどんな曲がかかるか分かった方がね。
- (局側) そうですね。
- (委員) 調べてまで聴くだろうと言ったらそこはね。そこまでじゃないかな。
- (局側) 局内でもざっくりとジャンル分けをしておりますが、本当にざっと昔、今という感じでは分けています。でも今の若い人にとっては全部が古い曲なので、分けるのがなかなか難しい。
- (委員) 他局との番組の交換をもっと積極的にしていったら、特徴が出るような感じがします。
- (局側) そうですね。こちらの楽しくやっている番組をよその局で放送していただけると本当に助かる。
- (委員) お互いがそういう格好でやっていいたら手もかからないし、より面白い。
- (委員) 丹後のこっちの方だけじゃなく、奈良県だとか東北とか繋がりがあんなら知らない情報も入ってくるんじゃないかなという気がします。それで時間が埋まるならそれに越したことはないと思う。
- (委員) 聴いてみたい。
- (局側) そうですね。特にFM たんごの番組は丹後の話題を皆さんが喋っていただけるので。
- (局側) 例えば他の地域とか福井とかの放送局で放送していただけると、丹後って？と言うところから始まって、近いし行ってみようかということにも繋がるのかなというのがあります。
- (委員) そういうことも、いっぺん考えてもらったらと思います。
- (局側) 逆もそうですけどね。
- (委員) そうそう。よその情報をね。
- (委員) この番組表って一般の人が知るには。
- (局側) 概ね今はホームページが多いかなと。皆さんがスマートフォンをお持ちなので、検索するとすぐにわかりますし、タイムテーブルも玄関とかに置くと結構持って帰っていただける方もいらっしゃいます。
- (委員) 毎日(週)更新していくのが28本と、再放送が20本ということは、4割くらいが再放送が占めていて、あんまりそうなる新鮮味がないような感じになって来るのでは。出来るだけ可能な限り新作が占めるような方向でやってもらおうと、一番いいかなと思います。
- (局側) そうですね。本当ですと毎週更新していただけるとありがたいです。

- (委員) 再放送も聞き逃しみたいなのがあって有効な時と、もう一回聴いても楽しい時と、ちょっとなんか話がズレる時と、色々ありますけど。
- (局側) そうですね。一番パーソナリティさんが悩ましいところが、再放送を考えて今日話す話題をしないといけないので、今日の近い話をしてしまうと再放送が遠いと、いつの話をしているんやっとなってしまうので。自分の話したい内容と、話すべき内容の乖離がどうしてもありますね。
- (委員) ずっと聴いておられる人だと、前に聴いた、同じことが聞こえてくるというのがあったりして。そこも難しい。
- (局側) そうですね。翌週再放送することによって聞き逃した方が翌週聞いていただけるっていうのもあるんですが、ずっと聴いていただいているかたにとって、「先週聴いた」という事象がおきます。
- (局側) 手前味噌ではありますが、色んな局の色んな放送を聴く中で FM たんごはかなりいい番組を作っているという自負はあります。なので、皆さんに安心してお聴きいただける番組を作っていると思っています。
- (委員) 誰かに来ていただいて話したりっていうのは。
- (局側) ゲストをお呼びすることもあります。イベントの宣伝でおいでいただく事とか、今こういう活動していますというお話をさせていただく事はあります。「ふりちゃんとみんなのわ」の番組では住職さんにお話しいただいています。
- (委員) 前から聴かせてもらっています。
- (委員) 今、高校に放送部というのは無いだろうか。
- (局側) 峰山に「ルーツ」と言う、高校生の集まりの場があります。連携をさせていただいて、高校生が何か発信する場所をこちらが提供するというのも出来るんじゃないかと思います。
- (委員) 高校生にこの時間自分たちの好きなように番組作って、どうですかっていう提案を。イブニング 794 を仮に1週間に一回だけでもそのぶんだけ前倒しにして後に持ってきて、ってやるのも逆に聴衆率が上がって来るとは思うんだけど。そういうやり方もひとつの方法かなと思って。
- (委員) ルーツは結構活動が活発ですね。きっと提携しながら番組っていうのも出来ると思います。
- (局側) 今年行われました高校生が主催の丹後万博というイベントの際にゲストに来ていただきましたが、丹後万博に参加する生徒たちの計画段階を番組で話し合うみたいな、というのもやってみてもおもしろいかもしれないですね。
- (委員) 高校生にも毎週一時間の枠をあげて、自分らの好きなように。そりゃどっかで歯止めはかけないといけないが、面白いものが出来るだろうと思う。
- (局側) 今、丹後にインターンで入っている大学生が農業体験とかいろんな活動をしています。色んな大学のゼミ活動が丹後で行われていますので、そういう方たちとも交流が出来れば。
- (委員) それはおもしろいわ。
- (局側) こちらも時間をご提供させていただけるし。10分20分でもいいので、自分たちの活動の PR をさせていただく事によって、そういう人たちがこっちに来て農業してはるんやなっていうのが、こっちの人も分かるし。お互いにとっても win-win になるのかなっていうのはあります。

以上、意見有（抜粋）

審議機関の答申又は改善意見に対して採った措置及びその年月日

番組担当からパーソナリティに対し意見の内容を伝えた。

審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容

- ① 当局事務所内に掲示
- ② 当局ホームページ <http://fm-tango.jp/> に掲載

その他の参考事項

特になし